

大正区地域福祉ビジョンver.3（案）パブリック・コメントによるご意見と大正区の考え方

ご意見	該当箇所	ご意見	大正区の考え方
1	6ページ	前ページで人口増の兆しとあるため、文章冒頭に「令和2年3月統計では」とあった方が良いと思う。	「 <u>令和2年3月統計の「大阪市将来推計人口」</u> における2025年から2045年までの5年ごとの推計人口では」という表記に修正を行います。
	22ページ、生活習慣病保有率のグラフ	できるなら、男女別のグラフが良いと思う（喫煙率同様に）。	生活習慣病保有率については、男女別のデータがないため、男女合計のグラフを掲載しています。
	33ページ	「困りごとなどを相談する人がいないこと」を「困りごとなどを相談できる人はいない」とした方が、よりグラフに近いので良いと思う。 また、グラフでは、大阪市の方が大正区より高いと思う。	以下のように修正を行います。 一方、大正区では、地域福祉にかかる実態調査において、「 <u>生活する上で、困っていること、悩んでいること、不安なこと</u> 」の質問に対して、「 <u>収入など経済的なこと</u> 」「 <u>仕事の事</u> 」「 <u>困りごとなどを相談する人がいないこと</u> 」と回答した割合が大阪市全体と比べて高いことから、困っていても自らSOSを発信しにくい家庭、自分たちで何とかできると課題を抱えたままにしている家庭、 <u>そもそもどこに相談をしたらいいのかわからず</u> 困っている家庭があると考えられます。

大正区地域福祉ビジョンver.3（案）パブリック・コメントによるご意見と大正区の考え方

ご意見	該当箇所	ご意見	大正区の考え方
2	34ページ	地域福祉を進め事業を進めるには、それに携わる地域福祉の担い手が必要です。地域福祉の担い手の確保について、情報発信に取り組むことやネットワークづくりも必要なことですが、このビジョンでは地域福祉を支える新たな人材育成のことについては触れられていないように見受けられます。10年、20年先を見越して、若い世代からの育成（教育）が必要ではないでしょうか。若い世代を育成することで、継続的な活動が期待できると思います。	41ページに下記のとおり追記します。 <u>また、大阪市では、子どものころから福祉に親しみ関心を持つことができるよう福祉について学ぶ機会を設けていくこととしており、例えば中学校の生徒たちを対象に、各中学校の要望に応じたプログラム（訪問・体験授業など）を実施しています。それ以外にも、大阪市社会福祉研修・情報センターで地域福祉活動をテーマにした市民参加研修を開催するなど、様々な周知・啓発活動を行っています。</u> <u>大正区役所においても、区社協が小中学校などで実施している福祉教育（車いす体験や高齢者体験等）を支援していくことで、若い世代から福祉を身近なものとして考えるきっかけとなるよう取り組みます。</u>
3	34ページ	「大正区役所ではあらゆる世代が地域福祉に関心を持ち～」と書いてあることから、将来の担い手を生み出す策のひとつとして、若年層へ地域福祉への関心を高めるため、小中学校などへの啓発に行政としても取り組む、ということを盛り込んでもらいたいです。	

大正区地域福祉ビジョンver.3（案）パブリック・コメントによるご意見と大正区の考え方

ご意見	該当箇所	ご意見	大正区の考え方
3	34ページ	大正区にはNPO法人が10程度しかなく、さらに大半が事業型であり、テーマ型がほぼ存在しない。ボランティアも地域活動者が中心だと感じることから、「『テーマ型』ボランティア」と注釈を入れてまで含むよりは、「ボランティア」の表現で良いように思います。	多様な形態の団体との連携を想定していることの例示として、「テーマ型ボランティア」と記載しています。
4	41ページ ア、ウ 参考資料2 イメージ図	「福祉課題の解決」「困りごと」という言葉は、マイナスイメージを受ける。地域支援会議は、課題だけでなく現状の共有や今後の発展についても話し合う場であると思うため、プラスイメージの要素があるとよい。	本項目は、「地域福祉課題解決への取組支援」について述べたものです。地域支援会議の福祉課題の解決や困りごとを「含めて」話し合う機能について言及しています。
5	41ページ	項目が「（４）地域福祉課題解決への取組支援」であることから、地域課題ではなく「福祉課題」に変えた方がよい。	「地域福祉課題」という表記に修正を行います。
	41ページ	区内10地域ではなく、各地域と表現した方がよいのではないかと。	「区内各地域ごと」に開催」という表記に修正を行います。

大正区地域福祉ビジョンver.3（案）パブリック・コメントによるご意見と大正区の考え方

ご意見	該当箇所	ご意見	大正区の考え方
6	41ページ	地域支援会議を『福祉課題解決の仕組み・場・機会』と位置付けていることから、「地域まちづくり実行委員会をはじめとする地域団体云々」という表現ではなく、「地域社会福祉協議会をはじめとする地域団体云々」とするのが適切ではないか。 ※41ページ脚注に、地活協は地域課題の解決やまちづくりに取り組む団体と記載がある。地域社会の「福祉課題」を関係機関や専門機関と連携して取り組む役割を担う「地域社会福祉協議会」が組織として地域にあることから、上記表現が妥当ではないか。	「 <u>地域社会福祉協議会</u> や地域まちづくり実行委員会をはじめとする」という表記に修正を行います。

{ } の項目は、ビジョンの修正を行わない箇所です。